

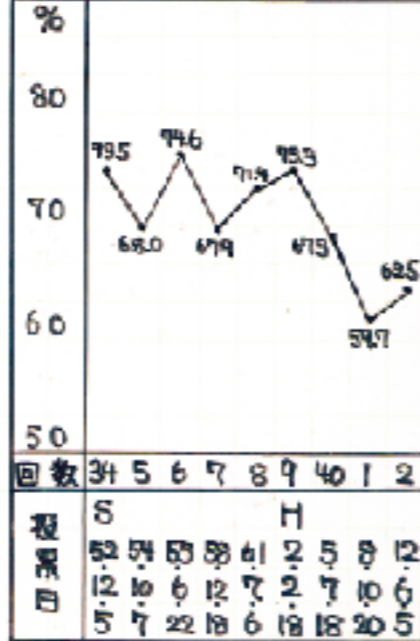
## テーマ

インターネットを活用してみんなが選挙に参加する  
よりよい社会になる提案をします

### 現状

- 現在、全体的に投票率が低下してきています。そして、その原因は、20代の投票率が低いからです。
- 一方、ケータイの所持率は20代が94.2%と高いです。

投票率の推移 (衆議院)



(明るい選挙推進協会)

↑ ケータイを利用すれば、投票率を上げられるかも!!

### 根拠

#### ① 選挙運動の活用

誰に投票するか決める時、1番重要なことは、候補者同士の比較です。しかし、現在の情報源(テレビや新聞)では不十分です。もし、インターネットで候補者の最新情報を見られれば、多くの情報を手に入れることができるので有効です。それに、互いにメールを利用して意見交換も可能になるので、選挙がより活性化します。また、いつでもどこでも情報を見ることができ、障害等の理由で外に出られない人も使えます。

しかし、すべての人がケータイを持っているわけではなく、インターネットを使うことができない人もいますので、情報格差の恐れもあります。

年代別のケータイ

年代	投票率(%)	ケータイ所持率(%)
20	38.3	94.1
30	56.8	82.3
40	68.1	73.6
50	72.0	51.7
60	79.2	25.9
70	76.7	9.1
80~	53.9	

(明るい選挙推進協会)

(2002年7月11日読売新聞)

#### ② 投票の活用

投票に行かない人の理由は、大きく分けて2つあります。それは、用事がある人と選挙に関心のない人です。そんな人にも、ケータイを使って投票ができるようになるれば投票しようと思わずにはいられず、投票率は確実に上がります。また、2002年6月25日に新見町で行われた電子投票の結果からも分かる通り、投票をデジタル化する事によって開票が速くなり、無効票が減る等利点が多くあります。実際にアメリカのフロリダ州で行われた選挙にもオンライン投票が使用され、成功しています。

しかし、オンライン投票には多くの問題点もあります。1番大きな問題は、本人確認です。指紋でしか判断できないため、全有権者の指紋を回収しないといけません。また、選挙の原則である「無視の自由」の自由意志による投票が損なわれてしまいます。

### 電子投票分 25分で開票

岡山県新見市長・市議員 大きな混乱なし

岡山県新見市で行われた市長・市議員選挙で、電子投票が導入された。開票は25分で完了し、大きな混乱はなかった。電子投票は、投票機に指紋を照らし、本人確認が行われる。また、投票機は、投票者の顔写真を撮影し、本人確認が行われる。また、投票機は、投票者の顔写真を撮影し、本人確認が行われる。また、投票機は、投票者の顔写真を撮影し、本人確認が行われる。

(2002年6月24日朝日新聞)

### 結論

- インターネットによる選挙運動を可能にすべきです。
- オンライン投票は、現段階で実現させるのは難しいです。

公職選挙法に触れない所での選挙(学校や会社等)で試験的に実施し、実績を作っていくことがインターネットを活用した選挙の実現に近づきます。また、法律の改正のきっかけにもなります。

↑ 促進すべきこと

2002年6月1日、インターネットを選挙に活用することに賛成している訴求し、時義勇に話を伺った。

